

# Fashion Cantata WEEK 2022

京都の上品で雅やかな和装文化と芸術的音楽により文化との交流・融合を図り、京都から日本の古き良き伝統を広く情報発信することを目的としたファッションショー“Fashion Cantata from KYOTO”の開催に合わせ、京都駅ビル インフォメーション前のイベントスペースにて『京都駅ビル ファッションカンタータウィーク』と題し、ショーの軸である「和装」に関連した展示イベントを実施します。

- ◆開催日程 2022年9月1日（木）～9月30日（金）※11日（日）・21日（水）は入替日のため展示なし
- ◆開催時間 10：00～20：00
- ◆開催場所 京都駅ビル2階 インフォメーション前（第2期はジェイアール京都伊勢丹、ポルタでも展示）
- ◆主催 京都駅ビル開発株式会社・京都商工会議所
- ◆内容

## 第1期 京友禅サリー

京都工芸染匠協同組合では、インドの民族衣装であり、日本の民族衣装としての着物との接点を探るべく「京友禅サリー」を開発しました。今回、その中から8点を京都駅ビルで展示します。

日程：9月1日(木)～10日(土) 10日間  
協力：京都工芸染匠協同組合



※写真はイメージ

## 第2期 Fashion Cantata Exhibition

「Fashion Cantata from KYOTO」のショーで使用した衣装の展示やショーのダイジェスト映像を放映します。

日程：9月12日(月)～20日(火) 9日間

【場所・内容】

### インフォメーション前 9点

- ①羽田登(手描き友禅)
- ②丹下雄介(臈纈染)
- ③齊藤上太郎(手挿し友禅)
- ④京都織物卸商業組合（染の川勝・帯の岩田9、⑤～⑨西陣織工業組合（着物：今河織物株式会社・帯：株式会社西陣まいづる、株式会社奏流舎、五十嵐織物株式会社、株式会社西陣輝光、川端有限会社）

### ポルタ（無印良品前） 2点

- ①羽田登(手描き友禅)
- ②丹下雄介(臈纈染)

### ジェイアール京都伊勢丹（11階） 2点

- ①齊藤上太郎(手挿し友禅)
- ②京都織物卸商業組合（染の川勝・帯の岩田）



※写真はイメージ

### 第3期 金襴

2022年が「西陣」名称の起源とされる応仁の乱(1467年)から起算してちょうど555年にあたることから「西陣呼称555年記念事業」を西陣織工業組合が実施します。その一環として、金襴の生地や内敷、クッション等の展示を行います。

#### 【内容】

西陣金襴反物(生地)、金襴キューブの展示  
※どちらも複数点展示します。

日 程：9月22日(水)～30日(金) 9日間  
協 力：西陣織工業組合



※写真はイメージ

### 【参考】

#### 京友禅サリーとは

##### ■京友禅サリーとは

インド女性の民族衣装であるサリーを京都の伝統である京友禅で染色・制作したものです。

##### ■京都工芸染匠協同組合とは

京都工芸染匠協同組合は正統京染を継ぐ京手描友禅加工業者の大同団結により、京染技術の保存と錬磨をはかって染匠の地位を確立し、業界の発展、向上をはかるために設立された事業協同組合です。京都工芸染匠協同組合の準会員である日印両国の発展に寄与するサービスを提供しているEIJも京都の伝統工芸が抱える課題を解決するべく、国土面積、人口ともに日本の約10倍の規模を誇るインドで実施する新たな取り組みを染工房ポータルで発信しています。

#### 西陣金襴とは

西陣金襴は1200年以上の歴史をもつ西陣織のなかでも源泉であり真髄とされています。

金箔や金銀糸を交ぜて模様を織る豪華絢爛な織物から、金を使わない無金物(むきんもの)と呼ばれるわびさびを出した織物まで様々です。

品目は多種多様で、宗教金襴、表具裂、名物裂、人形裂などがあり、神宮装束、十二単、法衣、能装束などに使われており、伝統と格式を重ねる織物です。